



校長室だより

きまがせ



令和5年6月23日
野田市立木間ヶ瀬小学校
校長 松藤 有里

児童との何気ない会話から…

先日、ある児童に「校長先生、お願いがあります。学校でシャープペンを使えるようにしてください。」と言われました。授業中でしたので、「それは無理なお願いだなあ。」と返し、それ以上話題にはしませんでした。4月に配付した「木小のやくそく」の中にも学習用具に関する記載があり、「シャープペンシルは使いません。」と明記してあります。

そもそも、なぜシャープペンシルを使ってはいけないのでしょうか。
私たちの考える理由は次の通りです。



- 1 小学生は字を書くときの筆圧の加減が難しいため、グッと力を入れてしまった際にシャープペンシルだと芯がすぐに折れてしまいます。逆に、筆圧が弱いと文字が読めないこともあります。
- 2 シャープペンシルの芯だと細すぎて「はね、とめ、はらい」がうまく書けなかったりしますが、濃くて芯の軟らかい鉛筆は書き心地が書道の筆に似ているので「はね、とめ、はらい」が表現しやすいです。
- 3 授業中にシャープペンシルに気を取られ、集中できないことがあります。（音が気になったり、部品を分解したくなったりする等）
- 4 可愛いデザインや装飾がついているものが多く、トラブルの原因になることがあります。

正しく持てて、筆圧が安定しているのなら、速く細かく書けるシャープペンシルの方が学習しやすいと考える児童がいるかもしれません。家庭学習や塾等で使用する場合もあるかと思えます。

ただ、集団で学んでいる以上、全体に共通のルールやきまりがあるのは、学校という場では必要なことです。

「〇〇はダメ!」「▽▽禁止!」と伝える際には、「なぜだめなのか。」理由をしっかりと説明していくことが私たちの指導で大切なことであると思えます。

今回はシャープペンシルのことを取り上げましたが、何事においても、頭ごなしに言うだけでなく、理由を丁寧に伝えていきたいと思えます。